

阪南市日中友好協会春節会に参加して

2011年2月5日、大阪の南にある阪南市日中友好協会（明石 啓会長）の春節会に見本会長と一緒に参加してきました。

以前から見本会長より、阪南日中友好協会のことは聞いていましたが、実際に参加して、当会にない会の運営をされています。「草の根運動」を展開されており、新年会では和歌山大学に留学している中国人留学生や国際交流と学習が中心の高校で学ぶ日本人の若者など17名がこの新年会に参加していたことです。聞くと毎年必ず中国人留学生を招待し、交流を深めているとのことでした。



明石会長

阪南市日中友好協会の副会長・理事長兼大阪府日中友好協会副理事長をされている中務 武志さんの話では、この会も高齢化しており、早く若者に引継ぎたい。そのための環境や機会をつくり日中の友好に支援すると言っておられました。

新年会は、南海本線淡輪駅の近くにある池田泉州銀行研修所で開催され、上手く地元の施設を活用しながら阪南市をPRされています。昔から淡輪漁港がありましたが、最近では近くの海浜は整備され、多くの公園が海沿いにあり、ヨットハーバーも出来ており、きっと春から夏にかけて行ってみると気持ちがよい場所だろうと思います。

最初のイベントは午前11時から当研修所の二階の和室で落語家“桂ひろば”さん（桂米朝の門下生、現在の師匠は桂ざこば、落語会歴11年、尾崎出身）の落語寄席から始まり、途中に中国人留学生2名が演壇に上がり、“はっぴ”を着せてもらい落語の学習（3秒落語＝鳩のふん＝、うどんを食べるしぐさ）を受けました。やはり中国人は恥じらいも無く堂々とした日本語での会話でした。この点、日本人は見習う必要があります。



桂ひろばさんの落語



落語風景



中国人留学生が落語の学習



桂ひろばさんから指導を受ける

その後、一階に戻り、すきやきパーティです。落語家の“桂ひろば”さんも一緒に参加され、参加者全員から大喝采でした。私の隣にいた中国人留学生陳 婷さん（和歌山大学経済、瀋陽出身）は“すきやきはひさしぶり”と言ってにっこりしていた様子が残っています。中国では“すきやき”はありません。“しゃぶしゃぶ”（火鍋）はあります。参加者はそれぞれのテーブルで、“すきやき”を食べ、中国人留学生や日本人の海外へ目指す高校生の紹介もあり会場は熱気があふれ、活気がありました。



桂ひろばさん参加で大喝采



皆ですきやきを賞味



中国人留学生の紹介



中務理事長から高校生紹介

その後のイベントはビンゴゲームです。中国にはビンゴゲームがありませんので、主催者からルール説明を受けて開始しました。会場は、盛り上がり中国人留学生は自分のビンゴカードを見ながら横の友人のビンゴカードを覗き込むなどして、ビンゴした参加者には豪華な景品が当たり、それぞれが中を開けて楽しんでいました。



ビンゴ抽選風景



花々公子桂林出身の何紅星さん



百万円札を手に羨ましい

また途中には斉藤美矢子さんの琵琶の演奏（中国音楽アンサンブル佳音）があるなど、内容は中国人留学生にとって、十分なものであったと思います。和やかな雰囲気で行われ、終了時には全員で写真撮影をしましたが、中国人留学生のカメラを主催者撮影担当にいくつも渡して撮影お願いしていたのでカメラマンは大変でした。



斉藤美矢子さんの琵琶演奏

明石 啓会長、中務武志副会長・理事長、古家副会長、明石 務理事、他関係各位には大変御世話になりました。感謝申し上げます。

今後、日中間で、いろんな機会があると思いますので宜しくお願い致します。

感 謝 合 作



左：見本会長（関西日中）中央：明石会長 右：中務副会長

（関西日中平和友好会事務局 高田）